

平成29年度第1回 青森県障害者施策推進協議会

日 時 平成29年10月19日（木）

13:30～15:00

場 所 アラスカ会館 4階「ダイヤモンド」

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- (1) 青森県障害福祉サービス実施計画（第4期計画）の点検・評価について
資料1に基づき、事務局から説明

(山越委員)

資料の3ページの障害者の数（手帳所持数）について、盲、ろう、身体など障害別の数がわからない状況となっている。その数について具体的に知りたいと思っている。人工内耳を付けている子どもも増えているので、そのことも含めて知りたい。

(事務局)

今回の資料では、身体障害者、知的障害者、精神障害者の数でお示ししておりますが、身体障害者の中には、もう少し詳しい障害種別の数を県では把握している。今回は手持ち資料がないのでお示しできないが、今後の第5期計画の策定に当たって、そのような数値もお示ししたい。

(山越委員)

はい、分かりました。

- (2) 「青森県障害福祉サービス実施計画（第3期計画）等の策定方針等について」
資料2に基づき、事務局から説明

(山越委員)

今後のスケジュールについての確認ですが、12月、2月に第2、第3回の会議を開催する予定となっているが、実際にそのスケジュールを見ると、県において勝手に計画を作成して、こちらがそれに従うようなイメージを受けるので、きちんとそこで確認できるのか。

(事務局)

計画については、県で素案という形で作成し、12月の協議会で委員の皆様から御意見をいただき、修正できるものは修正し、またパブリックコメントを実施し広く御意見をいただいて、2月の協議会でも原案をお示しし、また御意見をいただくという、そういうステップを踏んで、3月までには策定したいと考えている

(山越委員)

説明や報告等の事務局側の時間が多く、なかなかこの場で意見を言う時間が少ないと思う。

(事務局)

2回目から3回目の会議の間にパブリックコメントの期間を1か月程度とする予定である。第4期計画策定時にも、委員の皆様からFAX等で御意見をいただいていた。今回も、この会議の場だけではなく、それ以外にも委員の皆様から御意見をいただきたいと考えている。

(山越委員)

はい、承知しました。

(谷川委員)

資料1で障害者の数の質問があったが、重症心身障害児(者)についても、各市町村の数を把握してほしい。現在は、親ががんばって在宅で生活しているが、将来的に施設入所が必要になる人がほとんどである。施設にお願いせざるを得ない時に入る施設がないとなれば大変なことになる。そのためにも、是非、市町村ごとの重症心身障害児(者)の数の把握をお願いしたい。

(事務局)

各市町村や県重症心身障害児(者)を守る会と連携し、可能であれば把握したいと考えている。

4 情報提供

(1) 医療的ケア児に関するアンケート調査等について

資料3に基づき、事務局から説明

(谷川委員)

アンケート調査の内容を聞いて、すごくいいアンケートを実施してくれたと思った。この中に、20歳未満の重症心身障害児を持つ親達の、心が不安定な親の悩みがそのものズバリ出ている。このことを課題として、この声を大事に一つ一つクリアーできるように県の施策の中に入れていただければ、救われる。

(2) 青森県保育・障害福祉サービス事業所等認証評価制度について
資料4に基づき、事務局から説明

※ 質疑等特になし

(山越委員)

私から、情報提供がある。

青森県で生まれ育ち、他県で勉強した人工内耳を付けた障害者が、いろいろな職業に就こうとしても、また訓練校に入ろうとしても断られた。青森で勉強していなかったからか、よく分からないけれども、障害者差別解消法で合理的配慮が明記されているが、相手に知識がなかった。障害者差別解消法の合理的配慮について周知徹底してほしいと思う。

(事務局)

障害者差別解消法では、障害を理由とした差別は禁止されているが、正当な理由があれば差別とはならないとなっており、具体的な理由がわからないのでコメントはできないが、詳しい内容がわかればと考えている。

(山越委員)

その方は、人工内耳は付けているが、話せるため、障害者にならずに職業訓練校を断られた。

(事務局)

障害を理由とした差別かどうか、障害者として認められなかったのか、その辺の詳しい理由がわかればと考えている。

(山越委員)

私もよく分からないが、相手の方の理解が足りなかったのではと思う。

(事務局)

合理的配慮については、例えば、2階に用事がある障害者を、持ち上げて必ず2階に上げなければならないということではなく、1階に職員が下りて対応するなど、可能な限り対応するという認識である。今回の事案についても、私どもに相談していただければ、いいのか悪いのかなど、いろいろ検討できると思う。

(山越委員)

はい、分かりました。

5 閉 会